

■カキ落葉病 ～予防が大切！！～

カキの落葉病(円星落葉病、角斑落葉病)は発病すると葉に褐色の斑点状の病斑ができ、落葉する病気です。落葉が著しいと果実は成熟前に樹上で軟化し落果してしまいます。



円星落葉病



落葉の状況



ひどい場合はほとんど落葉

落葉病菌は、落葉した葉で越冬し、春以降、5月～7月にかけて葉裏の気孔から感染します。感染した後は、気温の低下に伴い、9月頃から発病します。発病してからの防除では効果がないため、感染期(5月下旬～7月)の予防が大切になります。

(※また、罹病した落葉は、園外に持ち出すか、土中に埋めるなどの対策も重要です。)

かきの落葉病の防除 (JA全農やまなし果樹病虫害防除暦より抜粋) ※展着剤を加用

散布時期	病虫害の発生状況	薬剤と適含量 (100 L 当り)	散布量 (10 a 当り)
落花後 (5月下旬)	落葉病類、炭疽病の感染期。 カキクダアザミウマの発生が続く。	オーソサイド水和剤 80 1,000 倍・・・100 g 加用スプラサイド水和剤 1,500 倍・・・66 g	400 L
6月 上旬～中旬	落葉病類の感染期。カキクダアザミウマ(新成虫)、カキノヘタムシガの第1回幼虫が出始める。ハマキムシ	チオノックフロアブル 500 倍・・・200 cc 加用パダンSG水溶剤 1,500 倍・・・66 g	500 L
7月上旬	類、アメリカシロヒトリの幼虫期。 カメムシ類、フジコナカイガラムシの発生期。	チオノックフロアブル 500 倍・・・200 cc 加用スプラサイド水和剤 1,500 倍・・・66 g	500 L
8月上旬	炭疽病の感染期。カキノヘタムシガの第2回幼虫が出始める。アメリカシロヒトリ、イラガ類の幼虫期。	トップジンM水和剤 1,000 倍・・・100 cc 加用スミチオン乳剤 1,000 倍・・・100 cc	500 L